

【様式第 4 号】

令和 7 年度 第 2 回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 防災部会 会議録	
日時	令和 7 年 6 月 11 日(水) 16:00 ~ 17:30
開催場所	地域活動ホームゆめ ボランティアルーム
出席者	ときわ虹の会、たちばな会、コペルプラス天王町教室、いわまワークス、希望の家、てとて、たちばな会、タキオンブライト、区社協、区役所、基幹相談 計 13 名
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ <u>非公開</u>
議 題	① 「被災地障害者センター横浜ほ도가や 開設マニュアルについて」 ・前回の事務局にて修正したマニュアルの確認。 AAR、センター開設判断基準、等一部を追加、改訂 ・災害時の緊急車両通行について 警察 HP に災害時通行不可とされている道路の掲載あり。許可証の申請、標章の交付は発災前でも可能。 ※今後も訓練等を通じてマニュアル内容は随時改訂予定。 ② 総会の実施について ・今年度の体制変更による総会の実施について 今回の防災部会をセンター臨時総会とし、たちばな会 の副代表選任について、別途、議事録を残しておく。 ③ 災害発生時用HPの作成について 自立協 HP に被災地障害者センターに関する説明は掲載済み 隠しページの製作、運用は HP ワーキングで詳細話し合われる予定。 ※掲載内容案、別紙あり 被災時の更新作業については、今後、HP 管理者と確認。少なくともボラ関係(受付、調整等)はセンターで担った方が良いだろう。 <各事務局から意見等> ・被災後、時間の経過によって支援ニーズが変わってくる。情報が入りにくく、被災時の手続きに困難を要する障害者が多く発生する状況が想定される中、各フェーズに対応したタイムリーな情報の提示、更新がどこまでできるか。 ↳ まずはセンター開設の周知が最優先事項。その他の情報は状況に応じて発信。する 他ない ・障害者が一般の避難所へ向かった場合、受け入れには困難が予想される。『地域防災拠点に避難した中で、一定の配慮が必要と判断された方が福祉避難所に移る。』という被災者受け入れの実際は理解しておいて方が良い。 ・市民全員が避難所に移ることは難しい。在宅避難が大前提ではあるが、避難者の受け入れを拒むことは出来ない。 ・HP にアクセスできない人への配慮も忘れずにおきたい ・開設周知については CP、学校に協力をお願いし、チラシを貼りださせてもらう。 ・LINE やメーリングリストなどを使って事前登録を行い、センターから被災者側へダイレクトにタイムリーな情報の発信が出来ないか?被災者側から支援を願い出やすい発信方法の検討も必要では。 ・発災時、在宅の障害者にどうアプローチするか?

- ・防災無線の整備、運用、地域の消防団と協力して発災時の呼びかけ、周知ができないか？
- ・市区からの災害情報メール、FAX（外部委託）は個人でも登録可能。登録周知を呼び掛ける。
- ・アナログとデジタルを併用して積極的に発信していく。
- ・見えない、聴こえない方々へのアプローチはどうか？

④ 研修の実施について

たちばな会 9 月定例会にて、防災に関する研修を予定

テーマ:被災地障害者センター横浜ほどがや について

講師:希望の家、ときわ虹の会

内容:被災地障害者センター横浜ほどがや とは？

在宅避難に絶対に必要な備え(トイレなど)について

日程:9/17(水)

センター周知の為、わかりやすい研修資料を作り、継続運用できるような研修の形を作り込んでいきたい。

⇒有志メンバーによる研修に向けた打合せを行う。7月中で日程調整中。

<その他意見>

- ・地域向けに発信できる場合は今後、更に広げていきたい。

(10月:区民祭り、11月:わいわいフェスタ、など)

- ・自立協他部会(精神 net)とのコラボも検討したい。

- ・研修周知用のパンフレットがあると良い。

⑤ 保土ヶ谷区からの寄付と区制100周年について

- ・寄付の申請

別紙、備品リストに基づいて申請。

区から、福祉避難所として協定を結んでいる区内施設(ゆめ、いわまワークス、希望の家)に災害時の電源の変わりになるような車の寄付を予定している。

備品の一部の保管場所を基幹相談としてよいか⇒基幹へ確認。了承得ている。

- ・区制 100 周年

第一期補助金(スターターパック)申請メ切:6/13(金)

補助金申請は次年度以降、第二弾でも構わないが、事前準備として団体登録が必要。

⇒自立支援協議会、被災地障害者センター横浜ほどがや、の 2 団体で登録予定。

⑥ その他

- ・災ボラ総会参加の報告

5 月末、災ボラの総会に参加したが、障害関連の話を全体に伝える時間取れず。

障害を理解してもらうには説明と理解にかなりの時間を要する状況が想定される。かつ、地域によって障害者に対する意識の差が大きい。

⇒障害者が避難してくることを想定していない拠点が多数あるものと推測。障害のある方々は福祉避難所に行く、と認識しているのでは？

次回の日程

防災部会事務局 8月20日(水) 16:00~17:30/ゆめボランティアルーム

防災部会 10月15日(水) 16:00~17:30/ゆめボランティアルーム